

に買い上げてもらい、それをベースにして新しい移転先を決めたいと考えているように思われるが、どう対応していくのか。

**答** これまでも代表の方々とお話し合いをしたり、アンケート調査を実施しました。最終的には地域の皆さん方に判断をしていただき、もし集団移転を希望されるのであれば、市としても精いっぱい支援をさせていただきます。

### 集団移転地の考え

**問** 集団移転を考える場合、残り180区画ほどの保留地がある恵み野地区を、被災地集落の集団移転地として検討することが大変有意義であると考えてるが、どうか。

**答** 集団移転先の候補地の一つとして考えていいと思いますが、最終的には集団移転を望まれる方々がどこを望まれるかということをも十分踏まえて対応しなければならぬと思います。

### 農地への住宅建築は

**問** 集落内の市街化調整区域内の農地を求めて住宅を

建て、農業をやりたい人がいると思うが、集落内の農地を取得して住宅を建設できるのか。

**答** 田園居住区整備事業、または防災集団移転促進事業という制度があります。地域の皆さんの意向を踏まえた上でどのような事業が

### 仮設住宅関連

**問** 仮設住宅や民間住宅の借り上げ制度は2年間である。2年後には入居をしている方で住む家がないという方が多く出てくること想定される。その対応として、被災者のための公設住宅を建設すべきと思うがどうか。

### 買い物しやすい策を

**問** 仮設住宅にお住まいの買い物弱者対策について、以前、商工会と連携しながら対応してはどうかと質問したが、その後どのような状況になっているか。

**答** 商工会と話し合いをしている最中ですが、まだ具体的に決まっています。できるだけ買い物とか何か

望ましいのか検討を進めていきたいと思えます。

### 特区申請で移転地を

**問** 特区申請はどうか。個々に緩和措置もあるが、市街化調整区域に家は建てられないので、農業委員会による農地のあつせんのように

**答** 新しい土地を求めたり、元の土地で家を建てるにしても相当なお金が掛かります。何らかの形で支援ができないかと考えますが、具体的にはなかなか難しいです。公設住宅等の建設も大きな選択肢の一つだと思いますが、ご提案の趣旨を十分に踏まえてこれからの参考にしたいと思えます。

の便宜が図られるよう検討中です。

### 砂利通路を舗装して

**問** 仮設住宅の通路は舗装がされてなく、砂利もひどい状況で、実際に転んでけがをされたことも伺っています。どのように検討したか。

**答** メーンの道路は舗装をしましたが、全体を舗装すべきという話もあります。

なことやってはどうか。調整区域の使っていない土地などは比較的安く買えるはず。市が仲介し、きちっと振り分ければ、岩沼市がお金を出さないと安い土地を被災者に提供できないのではないかと。

**答** 農地をどうにか活用で



仮設住宅の舗装通路と砂利通路

仮設ということでも我慢していただくところは我慢していただくかざるを得ないと思います。少し砂利等を敷いたり、転圧をかけるとか、支障のないように努力をしていきたいと思えます。

きないかと考えましたが、今まで住んでいた土地をどうするかセットで考えなければ駄目だと思っています。うまい形で法令等の制約がなく認められるとすれば、用地を求めやすくなることも確かですので、研究、検討をしたいと思います。

### 高齢者向き住環境を

**問** 雨水の排水溝はやはり必要である。できれば通路も舗装し、高齢者に配慮した住環境を配備すべきだと思うがどうか。

**答** 道路の舗装だけでも最低5000万円は掛かります。今回、また億というお金をかける形が本当に岩沼全体としてトータルでいいのかどうか。多少は不便であっても協力を頂かなければなりません。今後の状況を見させていただきます。

### 地盤沈下・除塩

**問** 市内の農地のがれき除去や除塩に掛かる費用は、300億とも400億ともいわれている。しかし、国が9割を負担するにしても